

# 月 信

Gessin  
GOVERNOR'S  
MONTHLY LETTER



7—2月号  
No.2  
JULY 2023

ロータリーの偉人②

Courtesy of Rotary International.

Arthur Frederick Sheldon

スローガンをもたらした アーサー・F・シェルドン

ロータリーに『He profits most who serves best～最もよく奉仕するもの最も多く報いられる』という奉仕理念をもたらした人物として知られており、ポール・ハリス、チェスリー・ペリーとともにロータリーの骨格を築いた賢人の一人と評されます。彼は、1908年にシカゴRCに入会しました。当時、親睦と事業上の利益の促進でスタートしたロータリーでしたが、1911年、ポートランド大会において、シェルドンの寄稿に基づいた彼の理念が「ロータリーの奉仕理念」として採択され、ロータリーに地域社会に対する貢献、公共への奉仕の理念を導入しました。このシェルドンの奉仕理念は、「継続的な事業の発展を得るためには、自分の儲けを優先するのではなく、自分の職業を通じて社会貢献するという意図をもって事業を営むべき」というもので、現在のロータリーの職業奉仕の理念の礎となりました。

〈2023-2024年度 第2700地区ガバナーメッセージ〉

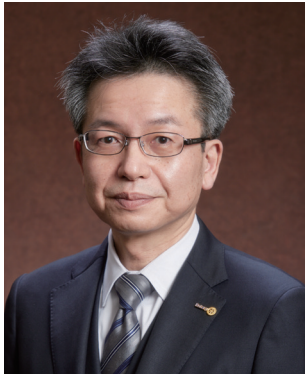
ロータリーを開き、ロータリーを前進させよう

国際ロータリー第2700地区ガバナー

吉田 知弘 (福岡東RC)



2023-2024年度国際ロータリーのテーマ  
世界に希望を生み出そう



## 地区研修・協議会にあたって

2023-2024年度  
第2700地区 ガバナー

吉田 知弘 (福岡東 RC)

### 1. 新年度を迎えて

いよいよ2023-24年度がスタートいたします。その準備に向けた**3大研修（地区チーム研修セミナー、PETS、地区研修・協議会）の締めくくり**として、5月22日、福岡ファッションビルにおいて、地区内全クラブより、会長エレクト、幹事エレクトをはじめ、クラブの理事・役員や委員長に御集合いいただき、**地区研修・協議会が開催されました。**3年ぶりの対面集合形式での開催でありながら、一部の分科会ではオンラインを

併用するなど意欲的な取組もあり、どの研修もたいへん充実したものになったと自負しております。この研修のレクチャーを御準備いただいた講師をはじめ、地区委員会の皆さま、事前準備とバックヤードを取り仕切っていただいた吉田ガバナー支援室（福岡東RC）の皆さまに、まずは厚く御礼申し上げます。

本稿では、本会議冒頭でご報告した内容を中心に、新年度の活動方針をご説明いたします。

### 2. ゴードンR. マッキナリー RI会長のテーマと地区メッセージ



2023年1月、米国フロリダ州オーランド、ローゼンシングルクリークにて開催された国際協議会において、ゴードンR. マッキナリー RI会長のテーマ講演が行われ、2023-24年度RI会長テーマが発表されました。

**Create Hope in the World**  
世界に希望を生み出そう

### 3. 地区メッセージ=ロータリーを開き、ロータリーを前進させよう=

#### (1) RI会長テーマ講演から導かれるもの

RI会長エレクトのテーマ講演では、ウクライナの戦禍や疫病（コロナ禍）等の災厄により、あるいは個人的な事情により、心身に深い傷を負った人々の心に寄り添い、希望をもたらすことに特に注目することが示されました。

その一方で、その目的を達成するための活動の組立て方に関して、ロータリーのビジョン声明や行動計画に則した**実践が重要**であること、**DEIの理念に則したオープンでインクルーシブな環境の醸成**など、**従来重視されてきた方針を引き続き重視することが示されて**おります。われわれは、クラブの内外において「持

「持続可能なよい変化をもたらす」ために何ができるかを考え、かつ実践することが重要であり、この地道な実践を通じて初めて「世界に希望を生み出す」ことができるものと理解しなくてはなりません。

## (2) ビジョン声明と行動計画を理解する

(a)ロータリーにとって最も重要なリソース（人的物的資源）は、個々のクラブとその活力にあります。CLPの目的がクラブの活力を維持・増進させることにあることを忘れず、そのために何をすべきか、何ができるのかを真摯に考えることが重要です。そのためのもっとも重要なキーワードがビジョン声明と行動計画の中に示されています。

### <ビジョン声明>

「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能なよい変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指しています。」

### <行動計画>

- ①より大きなインパクトをもたらす
- ②参加者の基盤を広げる
- ③参加者の積極的なかわりを促す
- ④適応力を高める

(b)ここでは、「持続可能なよい変化」というキーワードに注目する必要があります。行動計画①にある「インパクト」という言葉も、「ロータリーの行動によってもたらされるポジティブで長期的な変化」のことであると定義されており、決して「衝撃的、派手で大掛かり」という意味ではありません。ビジョン声明に示された持続可能性の考え方とリンクしていることを知る必要があります。

ロータリーが「持続可能なよい変化」を生むためには、その基礎となるクラブが活動の母体として「持続可能」なものである必要がある、ここが全てのスタートラインとなり、同時にゴールともなります。ロータリーの4つの行動計画が、そのための指針を示したものであることを再確認していただきたいと思えます。

(c)クラブの持続可能性は、われわれが大切にしてきた伝統的で良心的な価値観を次世代へと伝承していくための不可欠の前提となります。この価値観は、「4つのテスト」として、また、「中核的価値観（親睦・奉仕・高潔性・多様性・リーダーシップ）」として、ロータリーの中に大切に伝承されています。

## (3) ロータリーを開き、ロータリーを前進させる

私たちロータリーは、それぞれのクラブごとに持続可能性を維持し、次世代へとクラブを継承する責任があります。そのためには、次代を担う新会員の加入を促し、ロータリアンとしての成長を促し、次世代のリーダーへと成長させることが欠かせず、そのための不断の努力を必要とします。

また、クラブが常に瑞々しい活動を続けるためには、その活動そのものが社会に必要とされ、魅力的なものとして社会のニーズを吸引する存在であることも欠かせません。クラブがそのような魅力ある活動を続けることが、巡り巡って新会員の加入を促し、親睦の礎となってクラブの活力の保持に貢献することも忘れてはなりません。

産業構造や社会経済の構造が、急速に、かつ劇的に変化してゆく現在の社会において、ひとりロータリーだけがその環境の変化から自由であるはずがありません。変化する環境に適応し、クラブを保持してロータリーとロータリーの価値を次世代へと継承するために何をすべきか、我々は知恵を絞る必要があります。社会構造の変化にもかかわらずクラブを強く瑞々しく保つためには、クラブの開放性を高め、環境の変化をクラブの内に取り込む視点が重要です。クラブの在り方にも多様なバリエーションがあり得ることを承認し、固定観念に囚われて試行錯誤を妨げないことがすこぶる重要です。間違ってもかまいません。やり直せばよいからです。

クラブの停滞を克服するために招き入れる変化を恐れる必要はありません。この変化はロータリーを前進させることであり、ポジティブに評価することができるはずです。これが「ロータリーを開き、ロータリーを前進させる」ことの本意です。



## 4. 地区方針の要点

### (1) ロータリーの基本を確認し、尊重しよう

ロータリーの基本は、4つのテストと中核的価値観（親睦・高潔性・多様性・奉仕・リーダーシップ）に集約されます。この基本をまず確認したいと思います。

クラブの内外において、会員一人ひとりがロータリアンとしての高潔性と品位ある振る舞いを保持することは、会員の自尊心を高めてクラブの結束を促すのに役立つだけでなく、ロータリーに対する社会の尊敬を高め、長期的な視点でクラブの存続を担保する基礎となります。例会をはじめ様々な機会を捉えて、高潔性保持の啓発に努めてください。

### (2) クラブの活動を充実させよう

当地区の戦略計画では、これまで特にCLPの推進を重視してきました。CLPはクラブ運営を効率化するのに役立ちますが、最終的な目的はクラブの活性化を促すことにあります。そこで、当年度は、より直接的に「クラブを元気にする」ことに特に重点を置いて取り組むこととしました。そのために、特に注目していたきたい視点を以下に整理します。

### (3) 充実した例会を取り戻そう

#### （丁寧なクラブ奉仕の実践）

クラブの活力の源泉は例会にあります。例会を開き、例会を充実させてください。そのために、親睦活動を中心に丁寧なクラブ奉仕の実践を心掛けていただきたいと思います。オンラインツールの活用によるハイブリッド例会を開くなど、例会の仕組みを工夫することも忘れずに心掛けてください。

### (4) クラブの課題を理解し、明確な目標を設定しよう

#### 設定しよう

クラブを元気にするために解決すべき課題はクラブごとに異なります。クラブは、自らの課題を自発的に拾い上げ、その解決に自発的に取り組む必要があります。活動が停滞しているとすればその原因は何かを検証・整理して、解決のためにどのようなリソースを活用できるかを考えていただきたい。長期計画と年次目標を明確に設定し、その達成に取り組むようにしてください。クラブ運営支援委員会をはじめ、地区のサポートを活用してください。

### (5) ロータリー賞の全クラブ受賞に向けて

当年度は、目に見える取組事項として、全クラブがロータリー賞を受賞することを地区の目標として掲げました。現実的な目標を立て、力を合わせて着実に達成する、この体験を通じてクラブの結束が促され、クラブの魅力が高まることを期待します。

### (6) インパクトある奉仕プロジェクトを計画・実行しよう

各クラブの活動又は事業として、一つ以上の奉仕プロジェクトを計画、実行してください。既に継続的に実施している奉仕活動があれば、より意義深いプロジェクトとする工夫をしてください。財団の地区補助金活用による事業でもかまいません。社会に対し「持続可能なよい変化＝インパクト」をもたらすかの検証も忘れずに行うようにしてください。

また、参加者の基盤を広げる観点から、例えば、RA・IAや米山奨学生の参加を促し、JCや学生ボランティア等の他団体とも連携するなど、パートナーシップを構築することも視野に入れて取組を進めてください。

### (7) 会員増強の目標と達成の視点について

#### （最低3200名）

当年度は、地区目標として「会員数3200名を必ず回復する」ことを掲げます。

一応の目安として、会員数30名未満のクラブは1名、30名以上60名未満のクラブは2名、60名以上のクラブは3名の会員数増加（純増）を目標としてください。これは、最低限の必達目標としてお示しするものであり、これを超えてさらに大きく会員数を伸ばしていただくことを期待します。

この「3200名」という数字は、当地区の規模を測る基準であり続けた象徴的な数字です。コロナ克服のシンボルとして、まず我々の本来の規模を確実に取り戻す、ここにターゲットを絞り込みます。3200名を回復し、その地平を超えて更に前進しましょう。

なお、会員増強に当たっては、DEIの視点を忘れず、年齢や性別、職種・役職等に過度にとらわれず、将来のリーダーにふさわしい人物を導き入れるように心掛けてください。

**(8) 会員相互のコミュニケーションを高めよう**  
(新会員育成プログラムの策定)

多様な人物をクラブに招き入れる以上、適切な育成プログラムを設けることが重要です。既存会員との相互理解を深めるきっかけともなり、クラブへの定着を促す方策となります。オリエンテーションを丁寧に行い、懇親会・懇談会を兼ねた勉強会を設けるなどの工夫を行ってください。

**(9) 若手会員の地区への出向を支援しよう**

(クラブを外に開き、次世代のリーダーを育てる)

クラブは、クラブの将来を担う潜在力の高い若手会員を積極的にクラブの外(地区)へ送り出し、クラブを超えたロータリーの広がりを経験させるように努めてください。ロータリーの世界は、クラブの内外の境界線を超え、更には地区の垣根さえ大きく超えて広がっていきます。地区へ出向した若い会員は、必ず「クラブの窓」となります。快く送り出していただくようお願いいたします。

**(10) マイロータリーの登録率を向上させよう**

マイロータリーの登録率100%を目指して、積極的な取組を進めてください。登録率100%達成クラブに対しては、ガバナー表彰を行うこととします。

マイロータリーは、単なる「会員専用ホームページ」ではありません。ロータリーの現在を知り、学びを深める上で欠かせないリソースであるというだけでなく、既にロータリー活動を行う上での「プラットフォーム」としての機能や役割を備えつつあります。積極的な取組をお願いします。

**(11) ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付増進について**

委員会により示される寄付目標(その達成のための仕組みや考え方)を理解し、その達成に努めてください。特に、小さな寄付を積み重ね、底堅い寄付を着実に積み重ねる工夫を奨励したいと思います(「多数の



小善は、少数の大善に優る』)。全クラブで小口寄付を集める努力を実践してください。これは寄付の「持続可能性を育てる」という観点からもとても重要なことです。

**(12) RI 会長方針に示された取組事項**

**A. ポリオ根絶への取組**

当年度は、RI 会長方針において、特にポリオ根絶への取組の強化が示されております。10月のエンドポリオデーには、日本国内それぞれの地区において重点的な取組がされることとなります。当地区における当年度の奉仕プロジェクトとしても、特にエンドポリオに重点を置き、ここに精力を集中させたいと考えます。

各種奉仕部門(公共イメージ向上部門、社会奉仕・職業奉仕・国際奉仕・青少年奉仕等)・ロータリー財団・米山記念奨学部門が適切に連携し、エンドポリオをテーマとする奉仕プロジェクトが企画されます。全クラブの参加をお願いします。

**B. メンタルヘルスの改善への取組**

RI 会長方針において正面から取り上げられたのが、このメンタルヘルスへの取組です。

我々がメンタルヘルスの改善と向上のために何ができるか、手探りとなる部分もありますが、特に奉仕プロジェクト部門の委員会を中心に、具体的な取組の方法を考案し、クラブへの情報提供を行うように要請しております。これに留意し、クラブの中でも取組を進めていただくようお願いいたします。

# 2023-2024年度 国際ロータリー 第2700地区 地区研修・協議会



## 地区研修・協議会の報告に代えて

2023-2024年度  
第2700地区 District Learning Facilitator (DLF)

安増 惇夫 (宗像 RC)

ガバナー月信7-(2)号は、地区研修・協議会の報告としての原稿依頼がありました。吉田年度では準備の段階から、吉田年度の地区研修プログラムには直接に関与する立場になかったため、地区研修・協議会にはARC(ロータリー・コーディネーター補佐)として講評をさせて頂きました。

講評として述べた事を簡潔に記すならば、以下の様に7-(1)に書いたことに尽きと思っています。

◆吉田ガバナーは、  
熱意溢れる2700地区の若き指導者です  
「RIの管理役員」である吉田ガバナーは、RI会長の方針を、「管理する地区にて実践して頂くために」更に

具体的に「ロータリーを開き、ロータリーを前進させよう」とのテーマの下に「地区内クラブが取り組むべき課題」を12項目に分けて発表され、其々に「分析と具体的な希望」を述べられています。

「本当に良く勉強と準備をされた、熱意溢れる2700地区の若き指導者」との評価を、ARCや種々の地域リーダーを経験してきた地区ガバナーの先輩として、敢えて言わせて頂きます(^\_^)。

原稿依頼を受けたこの月信には「地区戦略計画委員会顧問」として、吉田DGがGEの時に、「戦略計画推進委員会」を中心に、多くの役職者の方々と、ここ数年間の地区組織等の変更の是非を見直し、対策を綿

## プログラム *program*

日時／2023年5月20日 13:00～18:30

会場／福岡ファッションビル

司会：溝江典江

12:00～13:00 受付

**[本会議]**

13:00～ 開会・点鐘 ガバナーエレクト 吉田 知弘

13:00～13:10 国歌斉唱  
ロータリーソング [2700のマーチ] ソングリーダー 石藏 啓孝

13:10～13:15 出席者紹介 次年度地区幹事 大神 朋子

13:15～14:15 次年度方針 ガバナーエレクト 吉田 知弘

14:15～14:35 講話 地区研修リーダー 古賀 英次

14:35～14:55 講演

「2022-2023年度世界ポリオデーについての取り組み」

九州4地区合同 公共イメージ向上イベント [2023年10月28日(土)]

ロータリー財団委員長 中村 光

公共イメージ向上部門 田村 志朗

————— 休憩・移動 —————

15:15～16:45 部門別協議会 (90分) ※一部オンライン方式あり

————— 休憩・移動 —————

**[本会議]**

17:05～18:05 部門別発表 各部門リーダー

18:05～18:15 講演 第3地域ARC 安増 惇夫

18:15～18:25 所感 ガバナーエレクト 吉田 知弘

18:25～18:30 閉会の言葉 ホストクラブ会長 大和 竹史

18:30 閉会・点鐘 ガバナーエレクト 吉田 知弘

密に検討して決定した「吉田年度からの地区組織」は、「地区の発展と、元気なクラブ作りのお役にたてるもの」に変わっていることと、それに対して地区委員会はどのような支援が出来るかを、本来は「地区研修・協議会」での説明をも必要とした事項を、この誌面にて報告いたします。

**◆吉田年度からの地区組織の変更内容**

- 1.「地区財務委員会」と「地区監査委員会」が「其々の規約を決めて新設」されました。これにより、(地区大会等負担金)や(委員会が収受する登録料等)も、地区会計の管理になります。
- 2.「地区幹事会」が新設されました。構成ガバナー一年度地区幹事を中心に、前年度と次年度の地区幹事の3名です。

規定により(引継ぎ)(申し送り)等々が円滑になります。

- 3.地区研修委員会の委員要件を、地区委員長経験者に限定し、「ガバナーが直轄するプログラムの立案と実施」や、「地区委員会が主管する事業を経験者の立場から支援」と致しました。  
これにより、ガバナーやガバナーエレクトは「直轄のシンクタンク」を持ち、委員会は「委員会任務に専念」出来ます。  
(新設時の例外として、クラブ運営支援委員会と社会奉仕委員会は現委員長の兼任)
- 4.「クラブ運営支援部門」の下に「クラブ運営支援委員会」を設け、(クラブの親睦活動の活性化)(クラブ研修リーダーの研修)(クラブのCLPの取り組み)等を重点として取り組み、**元気なクラブ作りに特化**

した委員会活動を任務としています。

「DEI推進チーム」と「衛星クラブ運営支援チーム」も担当します。

5. 会員基盤向上部門は「会員増強部門」と名称を変更し、「会員基盤向上委員会」も「会員増強委員会」と改名し、(会員増強)と(新クラブ結成)に任務を特化しています。

「衛星クラブ設立支援チーム」も担当します。

6. 「ロータリー情報委員会」が「公共イメージ向上部門」の配置となり、(ロータリーの活動情報の対外的発信)がSNSや地区のオンラインの利用等でも効率的に出来るようにしました。

7. 7つの委員会を管理していた奉仕プロジェクト部門を「奉仕プロジェクト部門」として、「国際奉仕委員会」「社会奉仕委員会」「職業奉仕委員会」の3委員会の管理、「青少年奉仕部門」として、「青少年奉仕5委員会」の管理としました。

更に、「ローターアクトもロータリアンと言うRAの規約改定」に対応するために、「ローターアクト委員会」の下に「RACタスクチーム」を配置して、2700地区の「独立型RAC」「提唱型RAC」「地区支援型RAC」及び「RACの新設」の支援をします。

8. 委員会別に配属となっていた「地区カウンセラー」が「部門カウンセラー」に変更になりました。部門別の委員会の任務が明確になったことにより、カウンセラーの効果的な役目が期待されます。

カウンセラーは「担当委員会の会議や委員会事業に出来るだけ多く出席をして、適切な支援をするとともに、RI主催の各種研修会への出席と共に、ガバナー諮問会議にて報告の義務が課せられました」

#### ◆地区組織や地区委員会は、クラブや会員の皆様の支援のためにあります。

クラブでの卓話、クラブ研修リーダー (CLF)、RLIや地区委員会の各種研修会を有効に活用して、「元気で、居心地の良い」クラブづくりに地区の組織をご活用下さい。

(RLI委員会、危機管理委員会、ロータリー財団部門、米山記念奨学会部門に変更は有りません)

RIは2023年度より「研修(Training)から学習(learning)」に方針を変更し、名称も変わりました。

地区研修リーダーは

**District Learning Facilitator (DLF)**

地区研修委員会は

**District Learning Committee (DLC)**

クラブ研修委員は

**Club Learning Facilitator (CLF)**





## 2023—2024年度 世界ポリオデーについての取り組み



### ポリオのない世界まであと少し！ ポリオデーへの取り組み

ロータリー財団委員会  
委員長 中村 光 (宗像 RC)

吉田ガバナーのもと新年度がスタートいたしました。今年度も宗像ロータリークラブ所属中村光が、地区ロータリー財団委員長を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

5月20日（土）に2023-2024年度の地区研修協議会が開催され、地区ロータリー財団委員会も地区内60クラブの会長・幹事はじめクラブ役職者へロータリー財団事業の内容、今年度の方針等を発表させていただきました。

#### 2022—23年度ポリオデーについての取り組み・今年度の取り組みについて

全体会ではポリオ根絶のため各クラブへの協力要請・ポリオプラスソサエティ登録・寄付のお願い等お話しさせていただきました。

近年 ポリオ患者が世界であと数人となっているため、一昨年よりRIからの要請によりポリオ根絶に向けて世界ポリオデーを軸にイベントの開催を要請されています。発表の中で23-24年度に行われました各地区や

クラブの取り組みを報告させていただいております。

今年度は10月28日に、九州4地区合同公共イメージ向上事業が開催されますので、合わせて各クラブでポリオデー行事への参加・実践をお願いしております。

各クラブに対して様々なプロジェクト計画がされていますが、ポリオ根絶へのイベントに対しては、無理のない範囲で行っていただければと思います。毎年各クラブ等で行われていますゴルフコンペ、コンサート、オークションなどをポリオ根絶チャリティイベントとして行っていただければと思います。同時に広報していただきポリオという病気、撲滅への重要性などクラブ外に周知・広報を行っていただければと思います。

またポリオプラスソサエティの認証制度が昨年度末に発表されました。これはポリオ根絶まで毎年100ドル寄付される方に贈られる認証です。当地区では初回登録300名を目指していますのでご登録お願いいたします。

ポリオのない世界まであと少しです。さらなるご協力をお願いいたします。

2023—2024年度

## 世界ポリオデーについての取り組み



### 九州4地区合同 公共イメージ向上事業について

九州4地区合同公共イメージ向上事業実行委員会

委員長 田村 志朗 (福岡東 RC)

国際ロータリー (RI) は、現在のロータリーの課題として、「ロータリーのことは知っているが、ロータリーが何をしているか知らない」という市民の多くの認識評価のもとに、従来の日本のロータリーの奉仕に対する陰徳精神的考えを180度転換し、クラブや地区、そしてRIの奉仕の実績を最大限PRすることに力点を移し、広報活動を強調するようになりました。

こういった背景のもと、九州4地区の公共イメージ向上に関係するメンバーで定期的に集まり、情報交換を行いながら、ロータリーのことをロータリアン以外の方々に広く知ってもらうためにはどうしたらいいかを考え、行動してきました。

この度、2023年10月28日(土)、九州4地区合同で公共イメージ向上のためのイベントを、ロータリー財団の**エンドポリオ事業と併催という形で、各地同時開催**いたします。

物理的な距離の課題もありますので、それぞれの地区の主要箇所にて地区ごとに催しを行って参りますが、オンラインで各地区を繋いでのイベントも企画しています。

また、4地区で協力し合って告知用チラシの作成や、SNSやマスコミにご協力頂いての情報拡散、共通のTシャツ、幟も作成し、公共イメージアップへと繋げて参ります。

目玉企画として、誰もが知っている企業を経営しておられるロータリアンによる特別講演という趣旨で、**ホシザキ株式会社** (日本初の全自動製氷機を開発。製氷機、冷蔵庫、食器洗浄機をはじめとする各種フードサービス機器の研究開発および製造販売) の**坂本精志** 会長へご講演をお願いしております。(講演会場は福岡予定)

**第2700地区**では、福岡県護国神社をお借りし、各クラブ・各地区委員会のブース出展やパネル展示、ステージイベント (講演会やeスポーツ等)、フリーマーケット、キッチンカーなど誰もが楽しめる一日となるよう企画しております。

本イベントの成功のためには、ロータリアンお一人おひとりの御力添えが必要でございますので、何卒ご協力のほどをよろしくお願いいたします。



## 会長部門

ガバナー 吉田 知弘 (福岡東 RC)

地区幹事 大神 朋子 (福岡東 RC)

地区会計長 野口 勝義 (福岡東 RC)

### RIのルールは私たちロータリアンが 自分たちで作るもの

会長部門では、2700地区において2020-2023年度の規程審議会代表委員をお務めいただいた灘谷和徳パストガバナー（2023-2024年度公共イメージ部門カウンセラー）より、『会長の皆さんに知って頂きたい「審議会」のこと』と題して、国際ロータリー（RI）のルールの在り方についてご講義をいただきました。

RIのルールは私たちロータリアンが自分たちで作るものであり、RI理事会が決めるものではないこと、ロータリアンが物申す場である規定審議会と決議審議会の仕組みについて学びました。各クラブでできることは、立法案や決議案の提案、出揃った立法案や決議案に対して審議会代表議員に意見の表明をすること、規定審議会で採択された議案に対する反対表明（クラブから直接RIへ）などがあります。人頭分担金の増額や、会員資格の緩和、出席例会開催の変遷、SRF問題など、近年のロータリーの動きは目が離せない状況が続いています。会員が参加する機会を逃さずに、ぜひ、会員、クラブからの発信をしていただきたいと思います。灘谷パストガバナーには、貴重な資料のご提供と、熱意あふれるご講義をいただきありがとうございました。60分間が大変短く感じられました。改めて感謝申し上げます。

引き続き、野口勝義会計長より、2023-2024年度の地区予算案について発表がなされ、無事に承認されました。

以上が会長部門のご報告となります。

ガバナー補佐のみなさん、各クラブ会長の皆さん、吉田年度でのご活躍を心より期待しております。どうぞよろしくお願ひいたします。

## 幹事部門

### 地区研修委員会

委員長 岩崎 員久 (八幡西 RC)

### 幹事はクラブ内の潤滑油、 クラブ外の広報担当として活躍を

さる5月20日（土）開催された地区研修協議会についてご報告いたします。

地区研修委員会は危機管理委員会（末松孝一委員長：行橋 RC）と合同で、幹事部門を担当しました。

初めに各クラブに事務局が存在するか否かを確認、当地区には60クラブすべてに事務局が存在しました。

次にクラブを政府に例えて会長は総理大臣、幹事は官房長官、各委員長は大臣である事を説明しました。

「幹事の役割、責務」については時系列により、幹事に任命された時点より幹事就任までの準備期間にするべき職務、幹事に就任してからは本格的にクラブ運営に関わる事、また下期になる頃から次年度幹事への引継ぎの準備やアドバイス等を行なう事等を説明しました。

当地区は全クラブに事務局があるため、事務手続きはほとんど事務局員さんが行っている傾向が強く、幹事本来の仕事がいかに重大な責務であるかを痛感されたようです。ただ事務手続きは事務局員さんにお任せでもいいので、内容はしっかり把握されるよう注意喚起しました。

幹事の最大の責務はクラブ活動をいかに円滑に運営するか。会長の意向をしっかりと把握し、それをクラブメンバーにいかに分かりやすく伝達し理解協力を求めるか、そしていかにクラブを活性化させていくか。幹事はクラブ内では潤滑油に、クラブ外（対外的）では広報担当として活躍される事を期待して部門のまとめといたしました。

## 危機管理委員会

委員長 末松 孝一 (行橋 RC)

### ロータリアンとしての品格と自覚をもち、 危機管理に対する意識を高めよう

私は「ロータリーと危機管理」というテーマで部門別協議会の幹事部門で約30分間話をさせていただきました。危機管理は広範であり、人的な事象から自然災害までを包括しています。2020年度から当地区ではクラブ幹事が危機管理委員の役割を担うことになっています。まずは危機の定義や範囲について話し、青少年保護に焦点を当てた内容も取り上げました。ロータリーの奉仕活動を行う上で危機管理を意識する事は不可欠です。素晴らしい奉仕活動があっても危機事案が発生すればそれは大きな問題となりますし、他のロータリアンにも迷惑をかけてしまいます。したがって、ロータリアンとしての品格と自覚を持ち、危機管理に対する意識を高める必要があります。また、今回の協議会では全てを伝えきれなかったため、9月2日(土)に2700地区危機管理研修会を計画しています。今後も危機予防と対応の準備に努めるつもりですので、引き続きご支援いただければ幸いです。

## クラブ運営部門

### クラブ運営支援委員会

委員長 吉行 亮二 (小倉南 RC)

#### クラブを元気にするために親睦活動の復活、 奉仕活動の活性化を

クラブ運営支援委員会の分科会は、「長期計画委員長」「クラブ研修リーダー」「親睦委員長」の皆様とZoomを用いて実施しました。また、安増カウンセラーにも当委員会の役割や各クラブの親睦の重要性をお話いただきました。

#### ①元気なクラブづくりのために(約50分)

近年、クラブにおいて、長期計画の制定及びCLP(クラブ・リーダーシップ・プラン)の導入が推奨されてき

ましたが、本来の目的は、細則や組織を変更するというような形式的なことではなく、「クラブを元気にするため」であるとお伝えしました。その上で、形式的なことから脱却するためにも、まずは、コロナ後の親睦活動の復活、奉仕活動の活性化をお願いしました。また、奉仕活動などにおける好事例を各クラブの出席者にもお話しいただきましたので、出席された皆様にとっても有益な情報になったことと思います。

#### ②クラブ研修リーダーの役割(約30分)

西島年度から各クラブに設置された「クラブ研修リーダー」の役割等について説明しました。昨今では、「地区は研修が増えた」とのお声があります。ですが、例えば、ロータリーで使われる「親睦(fellowship)」の本来の意味はご存じでしょうか。また、ロータリー財団の使命は何でしょうか。私どもは、ロータリーの意味をもっと深く理解することで、会員の意識も変わり、より強い組織になると考えています。各クラブにおいて、継続的かつ包括的な研修を行い、これまで不足していた部分をサポートすることをお願いしました。

#### 親睦活動の重要性 ～コロナの収束～

- 出席率の向上
- 新会員歓迎会の実施
- 炉辺、テーブル会の実施
- 家族例会(懇親会)の実施
- 交換留学生・米山奨学生等との交流
- 各種サークル活動の再開  
(ゴルフ、お酒・グルメ、野球、囲碁、麻雀、登山、音楽など)

クラブのリーダーが盛り上げていただくようお願いします!



21

#### クラブ研修計画の主な内容(4パターン)

- ① 地区主催・委員会主催の研修会や事業に対してクラブ会員の出席を促進し、クラブ例会等においてその報告の時間を調整してください。
- ② 新会員オリエンテーションを随時開催するとともに、IM・地区大会などは積極的に参加を促してください。
- ③ 現会員に対して、ロータリー教材や卓話などを通じて、計画的・包括的な教育の機会を設けてください。また、「クラブ指導者育成セミナー」の実施をお願いします。
- ④ クラブ指導者育成のために、毎年、複数名に「RLI」の受講を促し、取りまとめてください。

11



## 会員基盤向上部門

### 会員増強委員会

委員長 鈴木 公利 (菊田 RC)

#### 会員維持を目的とした 「元気なクラブづくり」を目指す

・会員基盤の向上の目標が、「会員増強」と「会員維持」の二つであることを踏まえ、それぞれの委員会の目的を明確化するため、今年度より「**会員増強**」を『**会員増強委員会**』（前年度の「**会員基盤向上委員会**」を名称変更）が、「**会員維持**」を『**クラブ運営支援委員会**』が担当。  
・当委員会は、吉田ガバナーが掲げられた2024年7月1日時点の「地区会員数3200人」、「各クラブ会員目標の合計3221人」の達成により、「**元気なクラブづくり**」を目指すべく活動  
・世界の会員数は117万人、日本は8万人台を切るも、現在は120万人、8.4万人まで回復  
・当地区も2021年に3000名近くまで落ち込むも、5月時点で3112名まで回復  
・2021年から2023年現在まで会員数の増員数は72名、内女性会員は41名と女性会員が半数以上。女性会員が地区の会員増強を牽引。  
・2019年に初めて衛星クラブが誕生し以来、現在まで6クラブが設立、73名（内女性会員18名）これは**日本の34地区で最多**。「**会員増強セミナー**（現**クラブ活性化セミナー**）」にて衛星クラブを紹介したことが大きく貢献

#### ○『**クラブ活性化セミナー**』の開催

【7月15日リモート開催】

会員増強には、「よりインパクトのある奉仕」、「ロータリーの認知度と理解の向上」と密接な関係があり、会員増強に役立つ重要なセミナーとなる。

#### ○『**オープン・ロータリー（例会）**』の提唱と支援

実施マニュアルのご提供と、マニュアルに基づいて実施され一定の新会員を迎えられたクラブへのご支援。

#### ○『**ガバナー特別表彰**』の実施

7月1日の2024年度と2023年度対比で2名以上の増員された上位5クラブを表彰。

#### ○『**新クラブの設立**』

ガバナー承認のもとに設立する新クラブの設立を目指す。

## 公共イメージ向上部門

### 広報・公共イメージ 向上委員会

委員長 細川 忠広 (小倉中央 RC)

#### 1項目につき5分以内の 飽きないプレゼンを目指しました

リモートでの開催という事で、我々委員会は北九州より配信を試みました。画面越しに90分間という時間を過ごしてもらうには飽きとの勝負になると考え、1つの項目を5分以内にして「**広報公共イメージ委員会の取り組み**」や「**卓話者バンク活用のお願い**」「**4地区合同事業のご案内**」などを各委員に担当してもらい行いました。

メイン事業として、**地域スポーツ3チーム（アメフトより福岡SUNS、フットサルよりボルクバレット北九州、e-スポーツより戦国）**をお呼びして、**地域スポーツにおける広報の必要性や公共性の重要度**などをパネルディスカッション形式でお話いただきました。チームの宣伝をもっとしたかったと思いますが、我々の趣旨を汲んで頂き、**広報・公共イメージ向上**といったキーワードに添いながらお話しをして頂きました。**反省点**としては、それでも**配信側の一方通行**になってしまいました。次はもっと**互いがコミットしあえる様な設えを整えたい**と思います。

## DX推進委員会

委員長 田村 志朗 (福岡東 RC)

#### DX化の重要性と具体的なメリット

部門別協議会において、以下の4点を発表いたしましたのでご報告いたします。

##### ① **DX推進の重要性**について

【概要】DX（デジタルトランスフォーメーション）を各ロータリークラブで推進していくことにより、**メンバー同士のコミュニケーションの活性化、クラブ運営の効率化、地域社会との連携強化**などの様々なメリットがあります。例えば、オンライン会議やソーシャルメディアを使った情報共有が可能になり、より**多くの人々にアプ**

ローチすることができます。また、オンライン上での活動や情報共有により、時間やコストを削減することができます。

(以下、文字数制限のため、概要は割愛いたします)

- ②オンライン会議システムの活用法について(ZOOM推奨)
- ③インターネットバンキング×DX
- ④DX活用事例発表

## R I D2700ロータリー 情報委員会

委員長 大賀 茂功 (大牟田 RC)

### ロータリーの公文書が検索できる 「ロータリー文庫」を是非ご利用ください!

ロータリー情報委員会はオンラインでの配信を行い登録されたのは44名でした。クラブのロータリー情報委員会委員長を中心に参加されており、90分間にわたりパワーポイントを使い12項目に分け説明を進めました。

その内容は、(1)ロータリーとは(2)ロータリーのはじまり(3)ロータリーの親睦と奉仕(4)職業奉仕(5)ロータリーの樹(6)国際ロータリーの変化(7)規定審議会と決議審議会(8)SRFロータリー未来形成(9)ロータリーの変えてよいもの変えていけないもの(10)手続要覧とロータリー章典(11)ロータリー情報委員会の役割(12)ロータリー情報委員会参考資料であります。

この中で(12)参考資料について説明します。My Rotary、手続要覧、ロータリー章典、ロータリー情報ハンドブック(2023年版)、ロータリーの心と原点(廣畑名誉顧問著)、ロータリーの理想と友愛読本(富田前カウンセラー編著)、ウェブサイト源流の会、ロータリー文庫です。ロータリー文庫はユーザー名rotary-bunko、パスワードsugahara@2022を入力すると公文書約18,000点が検索できます。ご利用ください。

## 奉仕プロジェクト部門

### 国際奉仕委員会

委員長 白川 勇一 (壱岐 RC)

#### 国際奉仕委員会5つのテーマ

奉仕プロジェクト部門 国際奉仕委員会では、パワーポイントを使い5つのテーマで話を進めさせていただきました。

##### 1. 国際奉仕委員会の歴史

WCS廃止後、2013-2014年度からクラブ単位での事業の発案をしてもらうようにし、ICS委員会はクラブをサポートするように変わったことを説明しました。

##### 2. 2700地区各クラブの国際奉仕活動報告

過去の奉仕活動の事例を紹介しました。2020-2021年度の事例をいくつか紹介します。

[久留米中央ロータリークラブ 総額572,000円]  
カンボジア・シュムリアップ州・アンコールトム地区  
清潔飲料水へのアクセス

[浮羽ロータリークラブ 総額700,000円]  
タイ王国サラブリーの学校  
浄水器設置とトイレ改修事業

##### 3. 国際奉仕活動の歴史的経緯

国際奉仕活動の始まりや、日本におけるWCS活動の第1号は、365地区によるインド救癩事業であったこと。発展途上国に対する、人道的奉仕活動という新しい地域からのニーズによって、国際奉仕活動に新しい流れが生まれてきたことを説明しました。

##### 4. 事業計画

順次グループ別会議を行い、活動参加へのお願い、新規事業計画立案の協力を求めます。状況を見ながら、海外ロータリークラブとのプロジェクトを再開し、地区内クラブとジョイントしていきます。

##### 5. 国際大会について

国際大会にオンラインで登録する方法の説明をしました。

- ・2024年5月25日～29日 シンガポール
- ・2025年6月21日～25日 カルガリー
- ・2026年6月13日～17日 台北
- ・2027年6月5日～9日 ホノルル

皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

## 社会奉仕委員会

委員長 熊手 幹彦 (福岡東南 RC)

### 「環境」をテーマに奉仕プロジェクトを推進

#### 1. 社会奉仕委員会の紹介

先ず冒頭に、ロータリークラブでの社会奉仕活動についての概要を理解していただくため、社会奉仕委員会紹介の動画を見ていただきました。

#### 2. 社会奉仕委員会の活動

次にパワーポイントを使って次の内容を説明しました。

- ① 社会奉仕とは
- ② 社会奉仕活動の実施

実施に当たってどういうことに注意すべきか。各クラブの社会奉仕委員会が活動するに当たって踏まえていただきたい項目についてロータリーの7つの重点分野とSDGsとの関係、内容について説明しました。

#### ③地区の活動について

ここ3年度の地区で取り組んだ宗像国際環境会議、ロータリー奉仕デーなどについて活動内容を説明し、今年度の活動予定について説明しました。

#### 3. 「豊かな自然プロジェクト」補助金について

今年度新たに、「環境」をテーマに奉仕プロジェクトを推進していただくため「豊かな自然プロジェクト」と題して補助金制度を創設した内容を許斐副委員長より説明しました。

#### 4. ロータリー財団委員会より補助金活用の紹介

次に地区ロータリー財団委員会の村上副委員長より社会奉仕活動における補助金申請の注意点について説明していただきました。

## 職業奉仕委員会

委員長 神尾 康生 (八幡西 RC)

### 自己の職業を通じて社会に貢献する、 奉仕の理想を実践する

職業奉仕委員会はウェブ会議を開催しました。地区委員が原則として集まった会場には地区委員を含め7名、ウェブには40名前後のご参加を頂いて、地区研修協議会を開催しました。

当初の45分程度は職業奉仕委員会の23～24年度委員長が、ロータリークラブにおける職業奉仕の歴史、現在の各種規程における職業奉仕について情報共有しました。

伝統的な考え方であり現在にとっても重要な自己の職業を通じて社会に貢献する、奉仕の理想を実践することの重要性を話し、また、現在の国際ロータリーの考え方である自己の職業上のノウハウ等を用いてロータリーのクラブレベル等で実施するプロジェクトに貢献することについても具体案を含めながら話をしました。

その後、職業奉仕に関係しそうな短編ビデオを視聴し、皆での討論座談会と移行しました。

座談会では、職業から離れた退職者もロータリークラブに安心して残っていただけないか、主婦はロータリークラブにおける職業なのか、といった議論を時間いっぱいまで行い、和やかに会を終了しました。

## 青少年奉仕部門

### インターアクト委員会

委員長 八島 英孝 (福岡南 RC)

#### インターアクト活動に専念できるように バックアップ

第2700地区内に32校あるインターアクトクラブは、この3年間のコロナ禍により、活動の大半を制限されてきました。漸くコロナ禍が明けた今年は、地区委員会として、彼らが再びインターアクト活動に専念できるよう、学校やアクター達に関わり、活動をバックアップしたいと考えています。

## 1. 地区研修会・指導者講習会

7月8日には提唱クラブの委員長と提唱校の顧問教師に参加していただき、1年間の計画を確認するキックオフ事業『地区研修会』、7月22日にはホスト高校の生徒たちが企画運営する『指導者講習会』を開催します。本年は、個々の事業を原点に却って見直し、新しいインターアクト活動の意義や行動を考える起点の1年にしようと考えています。

## 2. インターアクトクラブ活動を目指す

また、地区内に新たなインターアクトクラブを誕生させるべく運動を行なうことも計画中です。将来のロータリーを担うようなリーダーシップを育むインターアクトクラブ活動を目指しますのでよろしくお願いいたします。

# RYLA・青少年育成委員会

委員長 川崎 和子 (久留米北 RC)

## 心のマスクを外し、 コミュニケーション力の向上を目指しましょう

### 1. 地区研修・協議会・部門別協議会

5月20日に開催された地区研修・協議会・部門別協議会におきましては、リアル形式の会議の中でRYLAプログラムの活動方針を説明し、併せてRYLAセミナー紹介動画によりRYLAの歩みと当地区での活動状況・記録動画を視聴いただき、RYLAの基本的な考え方や具体的な取り組みについて理解を深めていただきました。

### 2. RYLAセミナー開催

その後、5月27日～28日にはRYLAセミナーを宗像グローバルアリーナにて開催しました。このセミナーでは“アフターコロナにおけるコミュニケーションとは”と題して～心のマスクを外そうよ～をテーマに掲げ、参加者と一緒に向き合い語り合うことで今後のコミュニケーション力の向上に活かしていただくことを目標としました。

この度のセミナーで経験し得られたことは、参加した若者にとって楽しい思い出となっただけなく、各自のこれからの人生において大いに役立つことを期待できるものであると確信しています。

### 3. 今後の活動

今年度は、前年度に開催したセミナー等により得られた知見をもとに、障がい者やジェンダーといったこれからの社会においてリーダーとして認識しておくべき必要不可欠なテーマについてのセミナーを実施する予定であります。

### 〈具体的な活動方針〉

1. RYLAセミナーを継続開催する
2. RYLAセミナーの知名度を高めるための活動を進める
3. 全国RYLA研修会による情報の収集と発信を行う

### 〈具体的な活動計画〉

委員会開催(毎月1回・年間12回予定)  
RYLAセミナーの開催  
全国RYLA研修会への参加

# 国際青少年交換委員会

委員長 大島 弘三 (鳥栖 RC)

## 世界中のロータリアンと友好を深め、 国境を越えたクラブ間の橋渡しを

当委員会分科会は10名の方に参加いただき、まず山本青少年奉仕委員長のビデオによる挨拶の後に、以下の項目及び内容について説明いたしました。

### ■ロータリー青少年交換プログラムの紹介

- ・派遣・来日交換学生及びROTEX、委員の紹介
- ・米山奨学事業と青少年交換プログラムとの違い
- ・数でみるロータリー青少年交換
- ・ロータリー青少年交換のしくみ  
国境を越えたクラブ間の事業であり地区委員会は橋渡し役
- ・RIJYEM(ライジェム)とは
- ・青少年交換役員(国際)大会前会議  
(5/26.27メルボルンにて大島参加)  
ロータリー青少年交換に携わるロータリアンが世界中から集い交友を深め、今後のネットワークを築く機会
- ・青少年と接する際の行動規範に関する声明  
児童や青少年の安全を守り、肉体的、性的、精神的虐待から彼らを保護しなければならない。
- ・青少年交換ボランティア誓約書について



日本では発行されない無犯罪証明書に代わるもの

- ・認定を維持するには
- ・多様性・公平さ・インクルージョンへのロータリーのコミットメント
- ・ロータリー青少年交換における「多様性、公平さ、開放性」

交換活動に関わるすべての人が心を開きお互いに支え合う事が必要

- ・クラブカウンセラーの役割について  
来日学生の相談相手、非常に重要。ホストファミリーとの兼任は原則として不可、英語堪能かつ同性が望ましい。

- ・青少年交換にかかる費用  
クラブの負担と学生の負担をそれぞれ説明
- ・YESS (Youth Exchange Support System) とは
- ・青少年交換における近隣地区との災害時等相互支援協定について

本年度、子どもたちの安全を第一に災害時の相互支援を2740地区と締結、次年度は他の九州内地区との締結に向け進めて参ります。

- ・青少年交換の成果 (Host Family・School・Club) 及び・地域との関わり

学生は1名ですがクラブ、ホストファミリー、クラスメイト、地域に対してその影響は広範囲に及びます。来日・帰国時、市役所への表敬訪問など地元メディアに取り上げていただくことでクラブの公共イメージアップに繋がるものと考えます。

## ■当地区委員会の活動報告

- ・ロータリー青少年交換プログラムの一年について、毎月開催していますオリエンテーションなどの事業をパワーポイントを使い説明しました。

- ・ロータリー青少年交換学生募集について  
この月信の22ページに来年夏の出発となる2024-25年度派遣交換学生の募集要項を記載しています。

是非、多くのクラブにスポンサー・ホストとしてのご参加をお願いするとともに、当地区7つのグループからそれぞれ1名以上のご応募をお待ちしています。

なお、2700地区当委員会ホームページ (<http://rye2700.org/>) にほぼ毎月、委員会の活動をアップしておりますのでご覧いただけますと幸いです。

## ロータリーアクト委員会

委員長 青屋 信作 (福岡東 RC)

### 魅力ある活動を行う

先般の地区研修協議会部門別会議に参加していただいた各クラブのロータリーアクト委員会の皆様、お疲れ様でした。またその際貴重なご意見を賜り誠にありがとうございました。当年度において少しでも前進できるよう努めて参ります。

当日は、①各クラブの会員数の減少について ②例会の在り方と新たな奉仕活動への取り組み ③新たなロータリーアクトクラブの形態 ④ロータリーアクト側の地区ロータリーアクト委員会の組織の見直し等を中心に協議いたしました。

当年度の地区ロータリーアクト委員会においては活動方針を「魅力ある活動を行う」としております。ロータリーアクトクラブの築いた成果を更に発展させるべく各クラブの会員同士が協力し、共に助け合いながら、まずは、クラブのため、そして地域のため、世界中の平和のためにロータリーアクトとして活動できることを考えたいと思います。

皆様にはいつも以上にご協力を頂戴することになりそうで大変恐縮ではありますが、当年度においても何卒ご理解を宜しくお願い致します。

## ロータリー財団部門

### ロータリー財団委員会

委員長 中村 光 (宗像 RC)

#### 世界中で役立つロータリー財団の寄付と第2700地区の寄付目標

ロータリー財団の役割、ポリオに関するロータリーの取り組みと歴史、ロータリー財団の補助金の活用方法・寄付の意義等お話しさせていただきました。

各クラブのロータリー財団委員長を中心に参加していただきました。お話ししました内容は以下のとおりです。

### ①ロータリー財団の役割

- ・RIとTRFの違い ロータリー財団とは
- ・ポリオプラス(ポリオの根絶)⇒最重点項目
- ・地区補助金とグローバル補助金
- ・ロータリー財団奨学生
- ・平和フェローシップ
- ・VTT(職業訓練チーム)
- ・寄付の目標と意義
- ・ロータリーカードについて

### ②ポリオ根絶について

- ・ポリオの歴史(ドキュメント動画)
- ・次年度のポリオ撲滅活動について
- ・10/28イベント開催について

### ③シェアシステムと補助金申請

- ・寄付の種類
- ・シェアシステムとは
- ・補助金申請の概要とプロジェクト例

ロータリー財団の役割と重要性をご認識いただけたと思います。

皆様からのロータリー財団へのご寄付は世界中で役立っております。クラブで補助金申請することにより奉仕プロジェクトの資金を援助することもできますので役立ててください。詳しくは年2回地区財団セミナーを開催しご説明させていただいておりますのでご参加お願いいたします。

2700地区の寄付目標は 年次基金 150ドル/人 ポリオ 30ドル/人 合計180ドル/人 ポールハリスソサエティ(PHS)推進(会員数10%)でございます。

ロータリー財団の意義・趣旨をご理解いただき、引き続きご協力をお願いいたします。

## 米山記念奨学部門

### 米山記念奨学委員会

委員長 吉田 廣幸 (直方RC)

#### 「小さな寄付」を 広く行き渡らせる取り組みを推進

令和5年5月20日、福岡市のファッションビルにおいて行われました、地区研修協議会部門別協議会は、各ク

ラブから約30名のクラブ米山委員長が参加され、90分間の時間を頂き久しぶりに対面方式で行いました。内容としましては、先ず米山奨学事業の全体をご理解頂く為に、下記内容のDVD「世界へ届け米山の懸け橋」を15分間鑑賞して頂きました。

1. プロローグ 2. 米山梅吉翁と米山記念奨学会の設立 3. 米山記念奨学事業の概要 4. 広がる学友との絆 5. 次世代を担う米山学友の活躍 6. エピローグ

その後、PPTにより下記内容を説明した後、事前に用意していた資料で、地区委員会の取組みの内容説明及びクラブ米山委員長の役割とお願い等の説明を行いました。

1. 米山梅吉と東京ロータリー 2. 多地区合同事業へ発展 3. 財団法人化・公益財団法人化 4. 国際理解・親善・平和 5. 日本と世界の懸け橋 6. 日本と日本人を理解した親日家へ 7. 多額の寄付を奨学金として給付 8. 普通寄付と特別寄付 9. 救貧型から知的貢献型へ 10. 寄付金の状況(10万円単位の思い込み) 11. 寄付金のしくみ(多くの会員へ低額寄付の推進、専用の封筒等紹介)

#### ◆クラブ米山委員長の役割と地区委員会からのお願い

##### 1. 米山記念奨学事業の意義をクラブに啓発する役割

- (1) 米山月間(10月)に限らず、米山に関する卓話を計画してください。

米山奨学生による卓話や、米山地区委員長(地区委員)による卓話が出来ます。

- (2) 米山記念奨学会本部からの定期的送付文書の配布について

「ハイライト米山」や各月の寄付金傾向/寄付金納入総合明細表

##### 2. クラブの寄付増進に努める役割

- (1) 2023-24年度地区個人平均寄付額の目標/17,000円

##### ◎特別寄付者割合の増進努力

2700地区は極端に特別寄付者割合が低い(5年前は34地区中最下位だった。)ため、地区が一丸となってこの問題に取り組む必要性があります。

- (2) 2023-24年度特別寄付者割合の目標/36%

「1口10万円(米山功労者)」という「思い込み」を打破し、「小さな寄付」を広く行き渡らせる取り組みを推進していく必要性があります。

##### 3. 2023-24年度2700地区米山記念奨学委員会の目標

1. 奨学生卓話研修会を開催し、卓話を通して会員と

奨学生の理解促進と交流を図ります。

2. カウンセラー研修会を開催し、クラブとの橋渡しを効果的に行えるように支援します。
3. 大学及び指導教官との意見交換会を開催し、米山記念奨学事業の求める学生像の理解を促します。
4. 地区大会にてホームカミング講演の時間をいただき、外国で活躍する学友を紹介して、会員の理解の増進に努めます。
5. 奨学生が日本の歴史と文化風土に親しむ機会とするため、10月に米山研修旅行を実施します。
6. 2700地区の個人平均寄付額が全国平均に近づくように、①普通寄付単位数の増額（目標10,000円）、②少額寄付封筒等の仕組み作り、③特別寄付の定額一括納付制の採用促進の検討を各クラブにお願いします。

以上の説明を終えた後、参加者からの質疑応答も行いました。米山事業及び地区の状況等に関しましては、まだ知られていないことがたくさんあるようで、今後多くの情報を各クラブへ提供していく必要性を強く感じました。米山月間やその他の月においても積極的な卓話依頼をお願いし、米山地区委員会としましても、多くの卓話依頼に十分に応えられるよう取り組んでいきたいと思っております。最後に、各クラブ米山委員長は米山記念事業を支える大変重要な役職であります。今後ともより一層のご理解とご協力をお願い申し上げ、米山記念事業部門別協議会の報告とさせていただきます。

## 当日の会場風景



開始早々のロータリーソングでの1シーン。  
機械の不具合で音楽が鳴らなかったのですが、石蔵委員長がアカペラで歌い始められたのをご覧になったみなさま、とても素敵なお顔になりました。  
“全てが順調に進んでいたわけではなかったけれど、失敗も会員の機転で、逆に思い出深い、良い思い出となった。”



2023-2024年度 第2700地区 ガバナーノミニー

## 就任のご挨拶

濱野 良彦 (福岡東南 RC)

RI第2700地区ロータリークラブの会員の皆様へ、2023-2024年度ガバナーノミニーを拝命いたしました福岡東南ロータリークラブの濱野良彦でございます。2023年1月20日に開かれた福岡東南ロータリークラブの臨時総会で2025-2026年度のガバナーに私を推薦することが決定されました。同日、第2700地区ガバナー指名委員会宛に推薦状が提出され、2月10日に眞正義指名委員長より第2700地区の全クラブ会長宛に私を2025-2026年度のガバナーに決定した旨の通知書が送付された経緯でガバナーノミニー・デジグネートとなりました。

2019年からのパンデミックを耐え忍んで、第2700地区のロータリー活動を維持し、万難を排して前進されましたパストガバナーの皆様方、ガバナーおよび地区役職者の皆様方、そして各クラブの会員の皆様方に心からの敬意を持ってガバナーノミニーの就任ご挨拶をいたします。

### 人の体温を感じながら話し合えることの大切さ

パンデミックによりZOOM会議が世界中に急速に普及し、瞬時にして地球全体が同じ条件や同じ環境で話し合える可能性を知った驚きを私たちは経験しました。その経験から、ロータリーの例会では、人の体温を感じながら話し合えることの大切さを再認識できた経験を忘れてはならないと、私は考えています。もしかすると、ロータリークラブが生まれた時代背景に酷似する何かが、このパンデミックにより発生したのではないかと、考えるのです。つまり、多くのロータリアンがロータリーの例会に出席することの楽しさ、あるいは忘れかけていた出席の意義を再考されているのではないのでしょうか。このような考えの元、私のガバナーノミニーの就任に関する決意やその覚悟に、パンデミックは影響していると感じています。

### 閉塞感をこじ開け、明るい世界へ突き進む目標

このような私の鬱屈した思考状況下に、一筋の光明を提示頂いたのが、吉田知弘ガバナーの今年度のメッセージ「ロータリーを開き、ロータリーを前進させよう」なのです。RI会長の本年度のテーマを受けての提唱であり、閉塞感の漂う閉ざされた社会を2つの提唱が呼

応し合い、ロータリアンが持つチカラを導き、閉塞感をこじ開け、明るい世界へ突き進む目標となっています。私は同じ方向性で歩むことができる役目を頂いたことに喜びを感じている次第です。このようにして、私がガバナーノミニー・デジグネートの時に学び、現在に至る意気込みや覚悟となっている所以です。

### 5ヶ年計画を策定する重要な時期に就任

パンデミックの猛威に抗うように2020年7月から第2700地区の戦略計画委員会の5ヶ年計画が実施され、7つの目標が提示された中の「RLI」の推進では、RIの方針に準じ、充実した内容で実施され、第2700地区には国際基準の考え方も持つ多くのロータリアンが生まれています。本年度は、これまでの3ヶ年の経過を精査し、パンデミックの影響等の検証を踏まえて、2025年からの5ヶ年計画を策定する重要な時期になります。新しい5ヶ年計画の開始年度が、私のガバナー就任の年に当たりますので、強い覚悟を持ってガバナーノミニーの任に就きたいと考えています。

### 「臆せず語る」そして「配慮した語り」

また、これまでの諸先輩ガバナーの皆様の偉大な業績からお教え頂いていることは、ロータリーの本質的な倫理観の継続の重要性とその価値観です。21世紀に入り、RIの方針は新しい取り組みを世界に提示してきました。とりわけこの10年間は、大きな潮流の変化の中で第2700地区では、諸先輩方の献身的な改革精神で世界の潮流におくれを取ることなく素早く対応され、変革は進んでいます。私は新しい役割を与えられ、これまでの経験とは異なった景色を見始めています。そこには新しい気付きがあり、それは「臆せず語る」そして「配慮した語り」が共通語であることです。

RLIの参加会員およびファシリテータの皆様方は、「臆せず語る」そして「配慮した語り」を経験し、第2700地区の新しい変革に寄与することでしょう。私は、これらの流れに影響するパンデミック等、複雑な要因を享受し、解決していく時代に突入したことを学び、皆様と共に活動していきます。どうぞよろしくご指導の程、お願い致します。

## お知らせ

# 名称が変更になります!!

## ～ Training (研修) から Learning (学び) へ～

2023 -2024年度  
国際ロータリー第2700地区  
地区幹事 **大神 朋子** (福岡東 RC)

ロータリーにおける私たちの取り組み方は、研修モデルから学習モデルへと移行しつつあります。これは、「参加者を活動の中心に据える」という行動計画の目標の一部でもあります。また、このことは、会員が学習により積極的に参加し、学習内容をよりよく管理できるようになることを意味します。

また、ロータリーでの学習体験を指導する人は、知るべき情報を伝える講師としてではなく、メンバーがアイデアを共有できるように導くファシリテーターとしての役割を果たすことになります。

今回、ファシリテーションを重視する新しい学習文化 (learning culture) への移行に伴い、以下の名称が変更されましたのでお知らせ致します。クラブ内でも名称変更にご対応ください。

現在の役職名		7月1日からの新しい役職名
クラブ研修リーダー	→	クラブ・ラーニングファシリテーター
地区研修リーダー	→	地区ラーニングファシリテーター
地区研修委員会	→	地区ラーニング委員会
国際協議会研修リーダー	→	国際協議会ラーニングファシリテーター

研修 Training とは、情報や知識を与えることです。

特定の作業を行うにあたって他人を訓練したり、または実演を通じて技術を訓練したりします。研修は、参加者に対して行われます。

学習 Learning とは、スキルや能力を向上させるために情報を吸収することです。

学習方法の例としては、トピックについて調べる、アイデアを議論する、スキルを練習するなどがあります。学習とは、参加者が行うことです。

なお、一部の行事名は規定審議会を通じた変更が必要となるため (PETS、地区研修・協議会等)、今後数年間にわたり、ラーニング委員会、理事会、規定審議会と共にこれらに取り組み、変更を加えていく予定です。

# 国際ロータリー第2700地区 24-25 ロータリー青少年交換学生募集

## 2024年8月から2025年7月に派遣する交換学生を募集します

COVID-19の影響により子供たちの健康と安全を最優先に交換停止となっておりますが、昨年夏より3年ぶりに再開しました。多くのご応募をお待ちしております。このプログラムはロータリアン関係者の子弟でも応募可能です。

**ロータリークラブの皆様へ** 是非、スポンサークラブとして交換を希望する生徒の受入れ（推薦）願ひ致します。当地区7グループよりそれぞれ1名以上のご応募いただきたく存じます。

### 1. 対象学生

- ① ロータリー第2700地区内（福岡県、長崎県の壱岐・対馬地区、佐賀県の鳥栖地区）に居住する、出発時に満15歳以上18歳6ヶ月までの生徒（通常、中学3年及び高校1年、2年で応募される生徒は派遣対象年齢の範囲内となります。）
- ② 出発時に地区内の高等学校に在籍中であること、また成績が学年中1/3以上であること

### 2. 派遣国

アメリカ、カナダ、オーストラリア、ブラジル、ドイツ、フランス、スイス、イタリア、スウェーデン、ノルウェー、台湾（過去10年間の実績）

### 3. 派遣期間

出発より約1年間。出発は2024年7月～8月（予定）  
（派遣先でホームステイをしながら、現地の高等学校に1年間通学します。）

### 4. 派遣費用

- (1)ロータリークラブが負担するもの  
滞在地でのホームステイ費、学費（授業料）、交通費、お小遣い（月1万円程度）  
【派遣先での生活】ロータリアン（又はその関連）の家庭にホームステイし現地の高校に通います。  
滞在費、学費にかかる経費はホストクラブが負担します。又、毎月のお小遣い（約100米ドル程度）が支給されます。その他の個人費用は本人の負担となります。派遣期間中はホストクラブが責任をもってお世話します。
- (2)交換学生が負担するもの出発までの1年間のオリエンテーション経費・ロータリー制服（ブレザー）等代（12万円）、派遣先までの往復旅費（国により15万～40万円程度）、ロータリー基準を満たす各種保険費用（12万円～20万円）、ビザ取得費用、派遣先での研修旅行費（旅行の参加は任意）、その他個人的な費用。

### 5. 応募条件

- ① 居住地近くの2700地区内RCからスポンサークラブとしての推薦が得られること
- ② 出発時に第2700地区内の高等学校に在籍中であること
- ③ 通学中の高等学校（又は中学校）長の推薦（留学の承認）が得られること
- ④ 留学生の家庭で、来日する学生のホストファミリー（3ヶ月程度）をしていただけること
- ⑤ 特に英語の能力レベルは問わないが、外国語や外国文化の習得、国際親善の推進に意欲を持っていること
- ⑥ 出発前、毎月1回（土曜午後）のオリエンテーションを最優先として出席すること
- ⑦ 合格後、速やかに留学生の書類を作成するためにノートパソコンを確保すること

- ⑧ 1年間の海外留学に耐えられる精神力と体力を保有すること

### 6. 注意

この交換留学制度は、青少年の国際理解の増進による世界平和の実現を目指しロータリークラブの国際的な協力により、ボランティアで行われています。一般の語学研修留学等とは異なる点がありますのでご了承ください。

- ① 派遣国の希望は伺いますが、希望に添えないことがあります。  
派遣国は選考試験合格後、10月～11月に当委員会が決定します。（必ず希望国、英語圏に留学できるとは限りません。）
- ② 派遣前の1年間、派遣中の1年間、派遣後の1年間程度、「ロータリーファミリーの一員」として、指定されたロータリーの行事に参加しなければなりません。
- ③ 帰国後はロータリー交換学友（ROTEX）として来日学生の支援等の活動にご協力いただきます。  
※別にスポンサークラブの対応要件等がございます。詳しくは下記の2700地区青少年交換委員会のホームページをご熟読いただきますようお願い致します。http://rye2700.org/

### 7. 応募締切 2023年8月31日（応募書類等必着）

### 8. 選抜試験

選抜試験を実施します。  
2023年9月16日（土）PM13:00  
〔試験内容〕  
一般常識、英語、小論文、本人面接、保護者面接  
〔受験料〕8,000円（当日持参）  
〔試験会場〕TKP博多駅前シティセンター  
福岡県福岡市博多区博多 駅前3-2-1  
日本生命博多駅前ビル8F TEL 092-433-2833

### 9. 応募方法

まず、各スポンサークラブの推薦（面接等を終えてスポンサークラブのOKが出てから）を受けた後で、「青少年交換学生の申し込み及び学生情報フォーム」からすべてのデータを入力してお申し込みください。  
その後、その他の応募書類を必ず期限内に下記まで郵送してください。

### 10. 募集人員 8～10名

### 11. 問い合わせ先（メールでお問い合わせください）

国際ロータリー第2700地区 国際青少年交換委員会  
E-mail: office@rye2700.org

### 12. 応募書類提出先

〒841-0055 佐賀県鳥栖市養父町38番地  
株式会社 大島組内  
国際ロータリー第2700地区  
国際青少年交換委員会 事務局 あて

## 5月度 会員数増減・累計出席率・My Rotary登録状況

グループ	クラブ名	例会数	当月末 累計出席率	期首		当 月				期首からの累計			My Rotary 登録率 (6/7現在)	22年7月1日 目標会員数
				会員数	(内女性)	入 会	退 会	末日会員数	(内女性)	入 会	退 会	増 減		
1	豊 前	3	80.60	31	3	0	0	30	2	1	2	-1	43.33	31
	豊 前 西	3	80.66	9	1	0	0	8	1	1	2	-1	50.00	11
	苅 田	3	71.52	34	3	0	0	35	4	4	3	1	74.29	39
	田 川	4	94.98	37	3	1	0	39	3	3	1	2	74.36	40
	行 橋	3	81.48	43	6	2	0	47	6	6	2	4	95.08	50
	*衛星クラブ	2	64.49	10	3	1	1	14	8	6	2	4		
	行橋みやこ	3	67.67	53	4	0	0	55	4	2	0	2	100.00	57
計 (6RC)	21	78.08	217	23	4	1	228	28	23	12	11	72.84	228	
2	小 倉	3	91.84	68	2	1	0	66	3	8	10	-2	22.86	70
	小倉中央	4	87.11	40	13	0	0	43	14	4	1	3	86.05	45
	小倉東	3	96.73	99	6	0	1	95	6	6	10	-4	58.95	105
	小倉南	4	93.39	57	0	0	1	54	0	3	6	-3	31.48	65
	小倉西	3	85.45	38	2	0	1	46	1	11	3	8	10.87	52
	門 司	4	90.07	30	1	0	0	34	2	7	3	4	5.88	35
	門 司 西	3	77.30	38	2	0	0	38	0	4	4	0	31.58	43
	戸 畑	3	83.75	21	2	0	0	19	2	0	2	-2	42.11	25
	戸畑東	4	88.11	25	2	0	0	24	2	0	1	-1	29.17	28
	若 松	3	76.06	19	4	0	0	22	4	4	1	3	45.45	21
	若松中央	4	74.88	24	2	0	0	23	1	0	1	-1	30.43	26
	計 (11RC)	38	88.42	459	36	1	3	464	35	47	42	5	35.89	515
3	飯 塚	4	93.50	69	0	0	1	75	0	8	2	6	17.33	79
	直 方	3	84.22	33	4	0	0	35	4	2	0	2	45.71	41
	直方中央	3	87.67	31	6	0	0	32	6	2	1	1	100.00	34
	遠 賀	3	79.64	45	4	0	0	46	4	2	1	1	45.65	50
	八 幡	4	86.82	48	5	0	0	47	5	3	4	-1	23.40	55
	八幡中央	4	98.79	52	2	0	0	52	3	4	4	0	53.85	58
	八幡南	3	83.96	48	1	0	0	48	1	1	1	0	33.33	52
	八幡西	3	92.72	51	0	0	0	51	0	1	1	0	29.41	54
計 (8RC)	27	89.40	377	22	0	1	386	23	23	14	9	43.59	423	
4	太 宰 府	4	93.53	47	4	1	0	47	4	3	3	0	100.00	53
	福 岡	4	85.82	122	2	0	0	123	2	17	16	1	65.85	135
	福岡平成	4	82.73	46	12	0	0	46	12	3	3	0	73.91	54
	福 岡 東	3	77.19	78	18	3	2	77	16	8	9	-1	65.22	100
	*衛星クラブ	2	91.46	11	1	0	0	15	2	4	0	4		15
	福岡城南	4	99.05	49	9	0	0	53	10	6	2	4	37.74	60
	福 岡 南	3	74.84	92	0	0	0	90	0	5	7	-2	81.82	108
	*衛星クラブ	1	88.43	8	5	0	0	9	4	2	1	1		
	福岡東南	3	69.40	72	9	1	0	77	10	8	3	5	61.80	79
	*衛星クラブ	1	53.62	0	0	0	0	12	2	13	1	12		
	博多イヅナ	3	82.42	53	11	0	1	50	11	1	4	-3	100.00	60
	宗 像	4	74.30	40	4	0	0	44	5	5	1	4	68.18	50
対 馬	3	79.57	19	3	0	0	21	4	2	0	2	6.06	21	
*衛星クラブ	2	89.58	0	0	0	0	12	2	12	0	12			
計 (10RC)	39	80.99	637	78	5	3	676	84	89	50	39	66.06	735	
5	福岡中央	4	89.28	48	0	0	0	51	4	4	1	3	70.97	55
	*衛星クラブ	2	91.77	11	1	0	0	11	1	0	0	0		13
	福岡イヅナ	4	66.84	32	5	0	1	32	5	6	6	0	63.64	44
	福岡城西	4	94.28	109	0	0	0	116	0	14	7	7	31.90	120
	福岡城東	3	78.78	26	2	0	0	26	2	0	0	0	11.54	28
	福 岡 北	3	92.75	61	0	1	0	61	0	5	5	0	35.00	70
	福 岡 西	4	75.99	142	0	1	0	143	1	8	7	1	30.77	145
	博 多	4	92.91	51	0	1	0	56	3	6	1	5	78.57	59
	彦 岐	3	88.12	40	2	0	0	41	2	1	0	1	60.98	47
	彦岐中央	3	80.10	25	0	0	0	25	0	1	1	0	60.00	30
糸 島	3	95.99	56	1	0	0	56	1	1	1	0	58.93	60	
計 (10RC)	37	85.98	601	11	3	1	618	19	46	29	17	50.23	671	
6	甘 木	4	92.44	57	1	1	0	60	2	4	1	3	38.33	58
	久 留 米	3	78.25	86	3	0	0	84	4	4	4	0	30.95	90
	久留米中央	4	99.57	41	3	0	0	38	3	0	3	-3	47.37	50
	久留米東	3	84.82	75	6	1	0	78	7	6	3	3	30.77	80
	久留米北	3	87.43	74	8	0	0	75	7	2	3	-1	13.51	83
	小 郡	3	93.50	52	1	0	0	48	1	2	6	-4	41.67	56
	鳥 栖	3	84.34	66	3	0	1	55	4	3	14	-11	37.50	67
	浮 羽	4	82.15	37	0	1	0	38	1	1	0	1	28.95	45
計 (8RC)	27	86.65	488	25	3	1	476	29	22	34	-12	33.63	529	
7	筑 後 川	3	97.63	24	0	0	0	23	0	0	1	-1	39.13	28
	大 牟 田	3	91.42	42	0	1	1	40	1	1	3	-2	100.00	45
	大牟田	5	89.15	60	3	0	0	58	4	3	5	-2	53.45	63
	大牟田北	3	87.27	43	1	1	0	49	2	7	1	6	73.47	48
	大牟田南	3	87.01	24	0	0	0	24	0	2	2	0	29.17	30
	八 女	3	81.61	24	3	0	0	23	3	0	1	-1	8.70	28
	柳 川	4	80.96	46	4	3	1	47	4	6	5	1	61.70	53
計 (7RC)	24	87.58	263	11	5	2	264	14	19	18	1	52.23	295	

総 計	クラブ数	当 月						期首からの累計			My Rotary登録率 (6/7現在)	22年7月1日 目標会員数	
		累計出席率	期首会員数	(内女性)	入 会	退 会	末日会員数	(内女性)	入 会	退 会			増減
	60	85.30	3,042	206	21	12	3,112	232	269	199	70	50.64	3,396

\*衛星クラブ：行橋COSMOS / 福岡東令和あけぼの / 福岡南ファミリア / 福岡中央エンジヨイ / 福岡東南けやき / 対馬ちんぐ

## 寄付認証者紹介 (5月分)

### ポール・ハリス・フェロー

稲富 靖彦 君	八幡西RC	Multiple
福嶋 逸人 君	浮羽RC	Multiple
宮崎 昌尚 君	浮羽RC	
長岡 祥二 君	大牟田北RC	Multiple
後藤 敏之 君	門司RC	
長澤 一成 君	福岡中央RC	Multiple
野崎 千尋 君	小郡RC	Multiple
宮川 壽 君	福岡城東RC	Multiple
大神 慎一郎 君	博多RC	Multiple
平山 通博 君	若松中央RC	Multiple
山本 啓之 君	若松中央RC	Multiple
市原 誠 君	久留米中央RC	

### 米山功労者

表彰回数

千代丸 康重 君	小倉東RC	1
古賀佳代子 君	博多イブニングRC	35
川村 一弘 君	小倉西RC	1
貞包 健一 君	八幡南RC	2
川原 正孝 君	福岡南RC	3
小林 弘 君	福岡南RC	2

## お知らせ

### ●八女ロータリークラブ事務所移転

事務局：〒834-0085

八女市立花町北山812 かの蜂ハニーガーデン内

電話：0943-24-1342 FAX：0943-24-1354

メールアドレス：yamerc88@gmail.com

※電話、FAX、メールアドレスは変更ありません

### ●豊前西ロータリークラブ例会日変更

例会日：第1、3金曜日 12:30～

会場：築上町リサイクルプラザ

※開始時間、開催場所の変更はありません



### ロータリーレート確認方法

My Rotary  
国際ロータリー為替レート  
(<https://my.rotary.org/ja/exchange-rates>)

↓  
該当月を PDF 形式でダウンロード

## 物故会員 (5月分)

謹んでご冥福をお祈り申し上げます



故 宮原 濱忠 会員  
(鳥栖RC)

逝去年月日：2023年5月27

ロータリー歴：41年

享年：84



故 富田 哲生 会員  
(甘木RC)

逝去年月日：2023年6月21

ロータリー歴：23年3ヶ月

享年：73

## 5月新会員ご紹介 (15RC 21名) ※衛星クラブ

グループ	クラブ名	お名前 (敬称略)
1	田川	花田 康治
		郡田 誠
2	行橋	藤野 俊介
		福島 梓*
4	小倉	林田 秀樹
	太宰府	小柳 壮司
5	福岡東	橋本 道成
	福岡東南	中川 崇
6	福岡北	山本 秀和
	福岡西	山口 武啓
7	博多	山崎 仁
	甘木	田代 信行
7	久留米東	石田 美紀子
	浮羽	平松 毅一郎
7	大川	山村 曜子
	大牟田北	荒巻 まゆ美
7	柳川	中島 弘恵
		倉田 勉
		奈良田 真作
		山崎 俊一
		山田 英明

## 第2700地区ガバナー月信 編集委員会連絡所

月信担当／桑野智彰 宮本由希 井上誉之 梅原健  
花田公一 川畑輝雅 橋本道成

連絡先／(株) 梓書院 ガバナー月信編集局  
〒812-0044 福岡県福岡市博多区千代3-2-1  
TEL092-643-7075 FAX092-643-7095  
E-mail：mail@azusashoin.com

## Rotary 国際ロータリー第2700地区 ガバナー事務所

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2-1-1 福岡朝日ビル 5F  
TEL.(092) 481-2650 FAX.(092) 481-2651

事務所長 E-mail：gocheef@2700rid.com

事務所 E-mail：ri2700go@2700rid.com

(執務時間) 平日／9:30～17:00 土曜日・日曜日・祝日／休務